

ぜひご利用ください!



認知症高齢者の自動車運転を考える

家族介護者のための 支援マニュアル[®]

認知症高齢者の安全と安心のために



自動車を運転する高齢者が認知症になったとき、運転者ご本人やそのご家族の中には、どのように対応してよいかわからず、地域での生活に困難を抱えている方がおられます。

そこで、わたくしどもは、これまでの研究活動の成果をまとめ、「認知症高齢者の自動車運転を考える 家族介護者のための支援マニュアル[®]」を作成致しました。皆様に、ご利用頂き、少しでもお役に立つことができれば幸いです。インターネットでの無料ダウンロードにより入手できるように致しましたので、ぜひとも、ご利用ください。

平成19-21年度厚生労働科学研究費補助金(認知症対策総合研究事業)
「認知症高齢者の自動車運転に対する社会支援のあり方に関する検討」
(H19-認知症-一般-025)研究班(研究代表者 荒井由美子)



事例紹介

第1章：認知症の正しい理解

第2章：認知症と運転

第3章：認知症高齢者の自動車の運転に関する法律

第4章：自動車運転に対する人々の意識

第5章：運転者が認知症になったとき

フローチャート：認知症高齢者の自動車運転への対応、考え方



ダウンロード方法については裏面をご覧ください



ダウンロード方法

以下の手順でホームページよりPDFファイルをダウンロードいただけます。ご活用の際に印刷して使用してください。

- 1 『国立長寿』で検索
- 2 『国立長寿医療センター研究所』ホームページへ
- 3 『部門紹介』をクリック
- 4 『長寿政策・在宅医療研究部』をクリック
- 5 右下『長寿政策・在宅医療研究部ホームページ』をクリック
- 6 左側『リンク』をクリック
- 7 『支援マニュアルPDFファイル』をダウンロード



PDFファイルをご覧いただくためには「Adobe Reader」のダウンロード(無料)が必要です。



活用方法

- 家族介護者の方々の手引きとして。
- 高齢者ケアに携わる方々の資料として。
- 高齢者福祉に携わる自治体職員の方々の資料として。
- 住民の方々への情報提供や支援ツールとして。
- 病院や地域包括支援センター、警察署等関係機関との情報共有を推進する資料として。

研究代表者紹介

荒井 由美子 (あらい ゆみこ) 医師、医学博士

東北大学医学部卒業後、
慶應義塾大学医学部精神・神経科入局。
英国エジンバラ大学大学院およびリーズ大学大学院修了後、
ロンドン市バーネット地区保健局客員公衆衛生医、
東北大学医学部公衆衛生学教室助手、
その後、国立長寿医療センター看護介護心理研究室長。
2005年より現職。

研究班(研究代表者: 荒井由美子)
平成19-21年度(3年間)
厚生労働科学研究費補助金(認知症対策総合研究事業)
「認知症高齢者の自動車運転に対する社会支援のあり方
に関する検討(H19-認知症-一般-025)」

執筆者一覧

荒井 由美子 (あらい ゆみこ)
国立長寿医療センター 長寿政策・在宅医療研究部 部長

池田 学 (いけだ まなぶ)
熊本大学大学院 医学薬学研究部 脳機能病態学分野(神経精神科) 教授

上村 直人 (かみむら なおと)
高知大学 医学部 神経精神科学教室 講師

新井 明日奈 (あらい あすな)
国立長寿医療センター 長寿政策・在宅医療研究部 室長

水野 洋子 (みずの ようこ)
国立長寿医療センター 長寿政策・在宅医療研究部 研究員

